

PR 動画の紹介

弘前市のホームページおよびシティプロモーションサイトから趣のある建物や歴史的建造物のPR動画を閲覧できます。

—趣のある建物—



弘前駅前〜土手町周辺

—弘前歴史たてもとの探索—



弘前公園周辺



寺院街とその周辺



弘前を彩った建築家たち



(a) 世界一長い桜並木



(b) 桜林公園



(c) 弘前公園

弘前公園の桜は、正徳五年(1715年)、弘前藩士が京都から25本の苗木を取り寄せ、城内に植えたのが始まりと言われています。その後、旧藩士の植栽や市民の寄付などにより全国的な桜の名所となる礎が築かれました。
市内には、弘前公園のほかにも、お花見スポットが多く、訪れる人々を魅了しています。

桜



連続した生垣



(f) 通りに建ち並ぶ蔵

蔵
農家が米やりんごを貯蔵するために建てられた蔵のある風景は、津軽地方の農業が生んだ特徴的な農村景観のひとつです。近年は、大規模な貯蔵施設に、その役割を引き継ぎ、多くはひっそりと佇んでいます。
小沢梨の木地区では、土蔵が通り沿いに建ち並び、連続する生垣と相まって魅力的な景観を形成しています。



(d) 国道7号沿いの桜並木



(e) 大仏公園



散策ガイドマップ (広域図)

● おすすめスポット

- 桜 (pink line)
- 蔵 (brown line)
- 102 国道
- JR
- 弘南鉄道
- 神社
- 寺
- 温泉

「趣のある建物」指定制度とは

弘前市には、弘前城をはじめとする歴史的な建造物や、明治・大正期の洋風建築物などの文化財が数多く残されています。また、文化財には指定されていないものの、歴史と文化が息づく情緒豊かな建物も数多く点在しています。

これら弘前の風情を醸し出している古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に発信することで弘前の新たな魅力の発見や、城下町としての奥行きを体感してもらうことを目的としています。

● 選定基準：原則として建築後50年を経過し、次のいずれかに該当するもの

- (1) 歴史的な街並みの雰囲気を醸し出しているもの
- (2) 時代の生活文化が感じられるもの
- (3) 由緒・由来のあるもの
- (4) 建築文化を物語る特徴的なもの
- (5) 地域のシンボルとして親しまれているもの
- (6) その他、選定基準に値するもの



表示板
—弘前市趣のある建物—
指定件数：36件